



# いきいき! きほく人

Vol. 1

## 休

日になると駐車場にバイクがずらりと並ぶ店がある。

国道320号線沿い、小松地区にある喫茶店兼民宿「ON&OFF」。この店のマスター、野村岩保さんにお話を伺った。

「バイクと出会ったのは学生時代。友人の家がバイク販売店で、そこで初めてバイクにまたがった。

その時の、喜びと感動、とにかく興奮した」と当時を振り返る。その後、叔父の勤める神戸市の中古車販売会社へ就職。自動車の整備やバイク販売等を経て、約20年前この地に店を構えた。神戸で過ごした32年間、そこで多くのことを学んだ。社交性、勇氣、そして人とのつながり。「人と人とのつながりが



ON&OFFマスター

のむらいわお  
野村岩保さん(69歳)

大事」という野村さんのもとには、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地からバイクのライダーたちが「四国のお父さん」と慕って会いに来るといふ。そして、訪れた人がマスターの魅力に引き付けられ、そこから評判が口コミで広がっていく。取材当日、群馬から訪れていた根岸さんと星野さん。彼らもまた、道中野村さんの噂を聞き、この宿に泊まろうと決めたそう。就職前の期間を利用して約10日間のツーリングに出ている2人に対して、「この時間は大切。将来の自分への投資や」と優しい目で話す。

野村さん自身、若い時にモトクロス大会(起伏の激しい未舗装のコースをバイクで走り抜ける)で活躍した経歴を持つ。現在も休みがあれば、大会に出場し、自分より若い人たちと互角にわたりあうというから驚く。そんな野村さんからは、バイク乗りの心構えやツーリングスポット、自分の体験談など様々な話が聞けた。気が付けば日付が変わろうとしていたが、3人からは終始笑い声が絶えなかった。今でも1日に800km程のツーリングは平気だという。元氣の秘訣は何だろうか。 「今の自分があるのはバイクのおかげ。あとは好奇心。みんな生まれたときは、真っ白なキャンバスの1つの点でしかない。それを単純な絵にするか、素晴らしい絵にするかは、好奇心次第。好奇心がある人はみんな目が輝いて、元氣なんですよ」そう答えてくれた。

ON&OFFは8月で20周年を迎える。区切りの年である今年、野村さんに新しい目標ができた。「バイクで日本一周の旅に出たい」。ただ、バイクで走るだけではなく、富士山にも登りたいし、ねぶた祭りにも参加したい。でも、高級なホテルやおいしい料理は必要ない。自由な時間こそ、自分にとって最大のご馳走であり、ご褒美だから。生涯現役ライダー野村さんの挑戦は続く。

## 編集後記

▼今月号から広報の内容をリニューアル。レイアウトの変更と新しいコーナーを追加しました。読者の声や広報クイズでは皆さんの投稿・応募をお待ちしています。

▼同じく今月からスタートした「いきいき!きほく人」。野村さんからたくさん素敵な話、言葉をいただきました。残念なのは全部を紹介できないこと。後はお店で聞いてください。笑顔のマスターがあなたを迎えてくれるはず。 (真)



出発前の根岸さん(左)、星野さん(右)と一緒に